



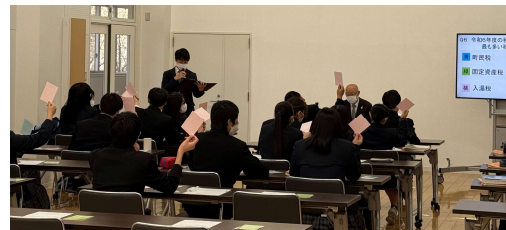
## 1 町長授業 「将来への羅針盤」

令和6年12月18日に箱根中学校にて3年生生徒を対象に「将来への羅針盤」をテーマに、勝俣浩行町長の授業が行われました。

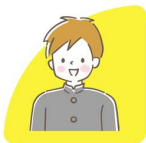
この取組は「箱根教育」の一環として平成20年度から実施しています。箱根町の現状や将来、政治や地方自治の理解、税収や支出、教育を通して、町の発展に貢献しようとする住民としての意識の向上を図ることを目的として開催しました。

「箱根町の税収と支出」や「箱根町の教育と教育費」では、町長がクイズを交えつつ説明を行い、生徒たちは日頃の学習と箱根町の現状を照らし合わせて回答していました。

「箱根町の抱える課題」や「将来、箱根町をもっと元気にするために私たちができること」では、少子高齢化による人口減少、子どもが自由に遊べる場所の少なさ等が課題として挙げられ、地域のボランティア活動やイベントに参加する等が自分たちでもできる解決策として挙げられました。



### もし、わたしが箱根町長になったら



- 子どもが遊べる場所がないので公園をつくる。
- 買い物は町外に行かなくてはならないので、スーパーマーケットを増やしたい。



- 放課後の居場所がないので、チェーン店の飲食店を誘致する。
- バスが1時間に1、2本しかないので、交通手段としてバスの本数を増やしたい。

### 箱根町長からのエール



次の箱根町を支える人材に、箱根町から世界へ羽ばたく人材になってほしい！

生徒代表から、「一番印象に残ったことは箱根町が教育費の支出を大きくしてくれたことです。今まで当たり前と思っていたことが当たり前ではないと思うことができました。残りの学校生活の一つひとつを大切にいき、町長の座右の銘「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」のように、未来の自分を変えるために精一杯頑張っていきたいと思います」とお礼の言葉がありました。

箱根中学校の生徒が積極的な参画をし、箱根町の未来を考える良い機会となりました。

## 2

本音ミーティング  
@学童（放課後児童クラブ）

令和 6 年 8 月 23 日に湯本こどもクラブ、8 月 29 日に箱根こどもクラブのこどもたちに集ってもらい、町民のファシリテーターの主導のもと「はこねっこ本音ミーティング」を実施しました。

ミーティングでは、3つのテーマ「箱根ってこんな町」、「箱根に住んでいてここがよいね、課題だね」、「箱根町がどうなったらみんなが幸せになりそう？」に沿って意見を出してもらい、箱根町の現状や課題、未来について意見が出されました。

道路の渋滞、買い物の不便さ、娯楽施設がない、公園の遊具の要望、学校施設整備、学校がない、高等学校がない等の課題が挙げられ、おとなとこどもたちが考える課題が同じであることがわかります。

また、こどもがお金を払わなくても立ち寄る場所が欲しいとの意見もあり、こどもの居場所づくりについても言及されました。

## 箱根町のここがよい、ここが好き

- ・平和
- ・観光できる（施設が多い）
- ・自然がいっぱい
- ・温泉に入れる（気持ちいい）
- ・ゴミが少ない
- ・お祭りが楽しい
- ・花火がきれい
- ・涼しい
- ・宮城野は桜がきれい
- ・テレビでよく放送される
- ・野生の動物が見られる
- ・仙石原にはスーパーがある
- ・コンビニがたくさんある
- ・お豆腐屋さんがある
- ・美術館がいっぱいある
- ・有名人がくる
- ・箱根駅伝、芦ノ湖



## 箱根町のここが残念・課題

- ・商店街が少ない
- ・歩いて行ける範囲にスーパーや洋服屋さんがない
- ・車が混んで渋滞してしまう、道が狭い、車が停められない
- ・ゲームセンターがない
- ・観光客が多くて道が狭い
- ・学校が遠い、高校がない
- ・ショッピングモールのようなところがない
- ・動物園や大きい水族館がない



## こうなったらいいな

- ・学校の中・昼休みをもっと長くしてほしい
- ・放課後児童クラブや学校のトイレをきれいにしてほしい
- ・放課後児童クラブの遊び道具を増やしてほしい（パズル・卓球台・ポケカ・ベイブレード）
- ・放課後児童クラブのおやつにポテトチップスが食べたい

